

採用情報

説明会のご案内

総務省では国家公務員を目指している方に向けて総務省への業務の理解を深めてもらうため様々な説明会を開催しています。
説明会の最新情報は総務省の一般職採用ページをご覧ください。



総務省HP採用情報

https://www.soumu.go.jp/menu_syokai/saiyou/index.html

人事担当者説明会

採用担当チームから総務省の業務の全体像について説明します。総務省ってどんなところ?総務省って何をやっているところ?といったイメージをつかみたい方にオススメの入門的な説明会です。

政策別説明会

政策の最前線で働いている職員から現在の業務やこれまでの経験談をお話しします。現場の空気を直接感じられる貴重な機会になりますので、是非リアルな声をお聞きください。

若手職員座談会

入省2、3年目の先輩職員と少人数グループでの座談会になります。官庁訪問に向けての準備、総務省に入った決め手、職場の雰囲気やお休みの過ごし方などざくばらんにお話しします。

個別相談会

行政評価・管理、統計、地方自治、情報通信の4つの分野のうち、希望分野毎に少人数で分かれて、採用担当が直接みなさんの質問にお答えします。官庁訪問前に各分野の傾向・対策を聞き出すチャンスです。

過去の採用状況

		令和4年度	令和3年度	令和2年度	
一般職事務系・技術系(大卒程度)	本省採用者	58(21)	55(25)	57(25)	
	地方支分部局採用者	管区行政評価局 行政評価支局 行政評価事務所	31(13)	26(11)	28(12)
		総合通信局 総合通信事務所	52(26)	62(26)	43(21)
一般職事務系(高卒程度)	本省採用者	9(2)	9(3)	10(4)	
女性の割合		42%	43%	45%	

※1:カッコ内の数字は女性の内数。※2:各年度試験には10月等に採用された人も含む



採用関連Q&A

Q1 総務省ではどのような人材を求めていますか?

総務省は、行政管理・評価、統計、地方自治、情報通信といった非常に幅広い分野を所管しており、それに対する課題は日々変化してきます。そういった状況の中で様々な業務や社会経済情勢の急速な変化に柔軟に対応でき、何事にも「チャレンジ」しようとする前向きな方を歓迎しています。

Q2 官庁訪問はどのように進むのですか?

官庁訪問を行う前に、行政管理・評価、統計、地方自治、情報通信の中から希望分野を選んでいただきます。その希望をもとに、現在その分野で働いている職員を中心に面接を行います。ぜひ、官庁訪問を通じて、政策の最前線を体感してください。

Q3 公務員試験の順位や年齢は採用に影響しますか?

点数や順位、年齢は全く関係ありません。「人物本位」での採用を行っているため、官庁訪問ではみなさんの魅力や熱意を存分にアピールしてください。

Q4 統計や情報通信の専門知識や語学のスキルは必要ですか?

入省時に特別な専門知識や語学のスキルは必要ありません。総務省では所管分野と関係のない学問を専攻していた方も多く採用しており、出身学部にかかわらず、様々なフィールドで活躍されています。また、業務に関する専門的な知識や語学については、研修が用意されています。少しでも総務省の業務に興味があれば是非お越しください。

Q5 説明会は参加した方がいいですか?

説明会への参加有無については採用にあたって関係はありません。ただ、総務省で実際に働いている職員の雰囲気を生で感じられるため、是非説明会に参加いただくことをオススメします。

Q6 ジョブローテーションについて教えてください

配属された部署によって異なりますが、多くの人は2~3年に一度別の部署へ異動することとなります。本人の希望・適性に依りて異動し、採用地以外の勤務地へ転勤する場合があります。

Q7 採用後のキャリアステップについて教えてください

一般職で採用となる職員は、入省後、内部部局の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、主に特定分野の業務(例えば行政管理、地方自治、情報通信、統計など)を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房や他分野の業務を担当することもあります。また、係員級のうちから本省と地方支分部局を行き来する機会も多くあります。他にも、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学など多様な経験を積む機会があります。

Q8 人事異動について自分の希望は反映されますか?

毎年、今後のキャリアプランについて自分の希望を伝える制度があり、この希望を考慮しつつ適性を踏まえて、配属・異動を決定しています。